

自分らしい生き方 見つけよう

G-NETしが

滋賀県男女共同参画情報誌 Vol.3 2003 秋号

子どもからはじまる 夢

特集 未来への

これからの社会をつくっていく子どもたちへ



● ジェンダー最前線
 People 安藤よし子 滋賀県副知事
 Topics 女性の社会参画
 ● いま地域では
 パートナーしが2010年ラン(改訂版)

ジェンダー4コマ 参加から参画へ。



G-NET pick up! 幼児室

明るく広い幼児室はおもちゃやベビーベッド、幼児用トイレも完備。親子で楽しめる「おはなしシアター」も定期開催されています。センター主催事業に参加される時などに利用できます。(利用の3日前までに要予約)



講座・イベント情報

オープンセミナー 平成16年1月11日(日) 14:00~
 ●内容: 男女共同参画社会を実現するための公開講演会
 ●場所: 県立男女共同参画センター大ホール
 ●講師: 吉永みち子さん(ノンフィクション作家)
 問 県立男女共同参画センター G-NETしが (経見あり) 3日前までに要予約
 TEL. 0748-37-3751 FAX. 0748-37-5770

滋賀県男女共同参画推進条例の制定を契機として、それぞれ身近な地域において学習を進めていただくため、県内各地で講演会(男女共同参画ひろば)を開催します。

大津志賀地域男女共同参画ひろば 平成16年1月31日(土)
 ●場所: びわ湖大津館(大津市) ●講師: 永田 萌 さん(絵本作家)

東近江地域男女共同参画ひろば 平成16年2月7日(土)
 ●場所: 文芸セナリヨ(安土町) ●講師: 鈴木 光司 さん(作家)

第19回彦根市男女共同参画フォーラム&湖東地域男女共同参画ひろば
 平成16年2月29日(日)
 ●場所: ビバシティホール(彦根市) ●講師: 桂 文也 さん(落語家)
 (他に、今年度11月から1月にかけて男性学講座と男の料理教室を開催)

湖北地域男女共同参画ひろば 平成16年2月29日(日)
 ●場所: 近江町立中央公民館 ●講師: 渥美 雅子 さん(弁護士)

問 県庁男女共同参画課 TEL. 077-528-3071 FAX. 077-528-4807

さんかく井戸端会議 男女共同参画センターやこの冊子のご意見、ご感想などあなたの声をお聞かせください。

●ビデオシアターを利用しました!
 ずっと前から興味があった男女共同参画センターのビデオシアター! 託児が一歳からなので、下の子が一歳になった日、やっと行く事ができました。映画はずっと観たくてなかなか観る機会がなかった「グッバイガール」で大満足。が、ちょっと意外だったのは、思ったより人が少ないこと。映画もタダ。託児。子育て中の主婦にとっても、こんなに嬉しい催しはないはずなのに。よく吟味されたいい映画を上映されているのに、とってももったいない気がしました。せっかくの公的機関で、みんな利用しない!!
 終わって託児室に迎えに行くと、マンツーマンで遊んでもらっていた我が子はとっても嬉しそうでした。早速「来月もまたお願います。」と言って帰って来ました。
 近江八幡市 小見山 康子

毎月第3土曜日は「ビデオシアター」の日 無料

ジェンダーの視点に立ったビデオを上映します。

- 上映時間: 10:00~、14:00~の2回
- 無料託児付(3日前までに要予約)
- ※なお12月のみ、12月23日の火曜日に曜日を変更します。

洗いラインナップですので、ミニシアター系の映画がお好きな方ははまるかも。

おすすめのビデオ「オール・アバウト・マイ・マザー」

字幕スーパー/101分/2000年アカデミー賞最優秀外国語映画賞受賞
 自分の人生と向き合っていく強さ、ひとつの命が受け継がれていくことの素晴らしさを教えてくれる。息子を亡くしたシングルマザーが過去を、そして自分を受け入れる旅に出る...

毎週木曜日には17:15~20:30までの夜間開室をおこなっています。静かにのんびり夜の図書・資料室をお楽しみください。(受験勉強などの学業はご遠慮ください)
 ●利用時間: 9:00~17:00(木曜~20:30) ●貸し出し: 1人5冊まで、3週間借りられます。 ●休業日: 月曜日・祝休日の翌日・年末年始・図書整理日



G-NETしが
 滋賀県男女共同参画情報誌vol.3 2003 秋号
 滋賀県立男女共同参画センター G-NETしが
 〒523-0891 滋賀県近江八幡市鷹飼町80-4
 TEL. 0748(37)3751 FAX. 0748(37)5770
 E-mail. g-net@mx.biwa.ne.jp
 ホームページ. http://www.pref.shiga.jp/c/g-net/
 【開所時間】午前9時~午後9時
 【休館日】月曜日・祝休日の翌日・年末年始
 発行日/平成15年11月10日
 編集・発行/滋賀県立男女共同参画センター
 企画・編集/特定非営利活動法人びいめ〜る企画室

夢から始まる 子ども みらいへの

特集

これからの社会をつかっていく子どもたちへ

子どもたちが見ている夢が、そのまま未来へつながるように。より自分らしく生きていけるように。いつも自分が好きでいられるように。いま、私たちは何をやっていけばいいのでしょうか？ そのヒントを、さまざまな場面でされている取り組みを紹介しながら、探っていきましょう。

これが我が家流 家族スタイル 家事・育児はおまかせ 八日市市 高木仁志さん



高木さんが現在のライフスタイルを選択したのは9年前。バレエ団を主宰する妻の妊娠がきっかけでした。もともと塾を経営されていたことから、経理やパソコンの腕を活かして、バレエ団経営のサポートに回り、家事育児も中心になって行うことにしたのです。父親中心の子育てに対する周囲の無理解や孤立感、子どもとのスキンシップの取り方など悩みは尽きませんでしたが、「今思うと、子どもとしっかり向き合えたのは貴重な体験だった。」と話されています。また「下の子が小学生になり、子育てもようやく一段落。これからは社会に向けて、活動の場を広げていくつもりです。」と、音楽関係のNPO設立や、「男性の子育て」で学んだことを活かせる場を作っていたらとの思いを語られました。



家族がいるからがんばれる

家族みんなで力をあわせて

妻博美さんの声 「その時できる人ができることをする」というのが、我が家流。二人の子どもを含めた全員が力をあわせて、我が家ならではの「家族のカタチ」を作り上げています。

男性も育児に「参画」する時代

周囲の影響を最も受ける幼児期。「母親」「母性」がクローズアップされがちなの時期にも、最近「男性」の活躍が目にするのが多くなってきました。男性が積極的に関わることで、子どもたちはもちろん、周囲の意識も変わってきているようです。

地域で支えて

助け合い、支えあう活動を大切に まかせて会員 大津市 中岡紹一さん



男性の育児援助会員もめずらしくない大津市ファミリーサポートセンター。中岡さんは主に保育所への送迎を援助しています。忙しくて父親として育児に関われなかった中岡さんが、育児サポートをすると聞き、「ご家族は少し心配されたとか。でも、「自分でも手助けできることがあるのならやってみよう」とチャレンジした結果、担当した子どもともすぐに仲よくなれ、援助を経験する中で、育児がいかに大変なことかを実感するようになったそうです。



保育所の送迎も慣れたもの

「自分の子どもにも、もっと関わってやればよかったと思っ返しています。」と、育児に対する認識も変わってきて、現在はセンターの運営にも積極的に参加している中岡さん。自分自身の生活も豊かになった気がします。これからも地域社会に根付いた取り組みをしていきたい。」と抱負を語っておられます。

おねがい会員の声 最初は子どもが人見知りしないかと不安でしたが、事前にお会いし、安心しておまかせすることができました。子どももだんだんうちとけて、お迎えに来てもらうのが楽しみになりました。おかげで親は心身ともに負担が軽くなり、ファミサポートを利用して本当によかったと思っています。

ファミリーサポートセンターって何？

子どもを預かってほしい人と、子どもを預かりたい人が会員になって、お互いの理解と協力のもと、地域のなかで育児のボランティア活動を有料で行う会員組織です。センターは会員相互間のコーディネートを行います。自治体の委託事業として、現在県内には大津彦根・長浜・近江八幡にセンターがあり、大津と彦根では、介護援助も行っていきます。

子どもが好きだから、自然とこの道を 保育士 水口西保育園（水口町） 大原和明さん



共働きの両親と三兄弟という家族環境で育った大原さん。小学生の頃から掃除・風呂の準備・食器洗いなどをされていた。もともと子どもが好きで、大学時代の「幼稚園訪問体験」で子どもの無邪気な心に触れ、この職を目指すように。

七年前から保育士として働きたまの、当時はまだ男性は少なく、本人も周囲も互いにどう接してよいか、とまどつこともあったそうです。今ではすっかり園に受け込み、自由遊びの時間などはサッカーに、色水遊びにとひっぱりだこ。「子どもたちも、男の先生だからではなく個人の性格や得意な事を通して接してくれている。」と、大原さん。「最近父親のお迎えも増えましてね。でも子どもに関わろうとする人とそうでない人の差が大きいように感じます。男性も女性も、子どもと関わる楽しさ・教えられることの多さを知ってほしいですね。」とも語っておられます。



みんな元気いっぱい、先生大好き！

保護者の声 最初の頃は「男の先生って珍しいなあ」と思いましたが、すぐに慣れて今では特に男性だからと意識することはありません。女性と男性、両方の先生がいることで、子どもたちもそれぞれの良いところを感じているようです。

幼稚園・保育所でも こんな取り組みが「実例報告」

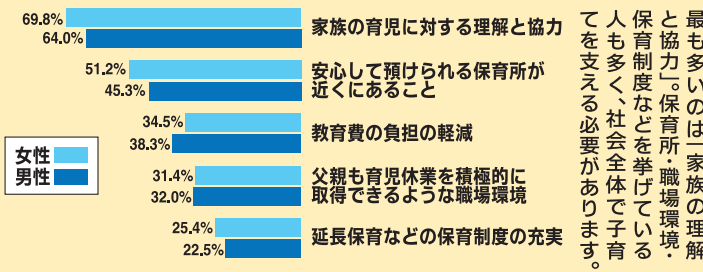
男女共同参画都市宣言をした東京都の場合 「まちづくり男と女の共同参画プラン」をもとに、各園で「公式行事の場ではくんちゃんではなくさんで遊ぶ」遊び着やトイレのスリッパの色分けの廃止「保護者向け通信にジェンダーチェックを入れる」といった取り組みが行われています。



ジェンダー情報BOX

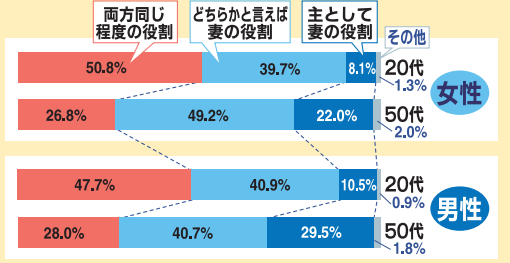
平成14年度 「男女共同参画社会づくりに向けた県民意識調査」より

安心して子育てするのに必要なこと



乳幼児の世話の役割分担

50代では「妻の役割」という答えが多いが、20代では「夫と妻両方同じ程度の役割」という答えが多くなっています。



男性の子育て環境

男性用トイレにもオムツ替えシート 最近では、男性用トイレにもオムツ替えシートが設置される例が増えてきました。男女共に使える車椅子対応トイレの中に設置される場合もあるようです。少しずつですが、男性の子育て環境の整備も進んでいるようです。



河辺いきもの森（八日市市）内の公衆トイレ
滋賀県立琵琶湖博物館のトイレ

夢を実現するのに 男子も女子も 関係ない

地域

みんなで力を合わせて

フラッグフットボール選手

草津リトルパンサーズ **奥野彩夏さん**・**西田真実さん**



アメリカンフットボールからタックルを除いたフラッグフットボールは、男女が同じチームで対等に楽しめるスポーツです。全国大会での優勝経験もある実力クラブ「草津リトルパンサーズ」では、小学一年から中学生まで約60名のメンバーの四分の一が女子。小学校五年生の奥野さん、西田さんは、「男子と一緒に練習や試合は、最初は不安だったけど、すぐに慣れて今は楽しくやっています」「みんなが気持ちを一つにしないとフォーメーションがうまくいかないので、男か女かなんて気にしていません。一生懸命練習して勝つ時はすごくうれしい」とのこと。みんなで力を合わせ生き生きと動く姿は、とても魅力的です。



フォーメーションもばっちり！



家庭

家族の喜ぶ顔がうれしい

お料理大好き！

草津第二小学校三年生



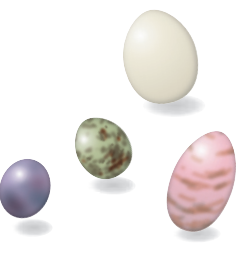
悠介さんが料理に目覚めたのは、小学校入学直前の春。友達と近所の子ども料理教室体験に行つて、すっかりその面白さにはまってしまったのだそうです。それ以来料理教室に通い続け、休日には習った料理を家族にふるまうのが習慣になりました。

自慢のファイルにはレシピがぎっしりで、得意料理は「マヨ・マスタード・チキン」。「お兄ちゃんの作る料理はおいしい」と、その味は妹さんも絶賛。段取りがうまくいかに夕食が遅くなつてしまふこともありますが、そんな時も、家族みんなできあがるのを待つてくれています。「みんなが喜んでくれるのがうれしい」と、今日もマイ包丁で料理の腕をふるう悠介さん。その周りには家族の笑顔が広がります。

母園子さん、父崇志さんの声
たまには失敗もありますが、その度に出ることも増えていくようです。こんな風にひとつひとつ、必要なことを自分で出来るようになっていって欲しいですね。



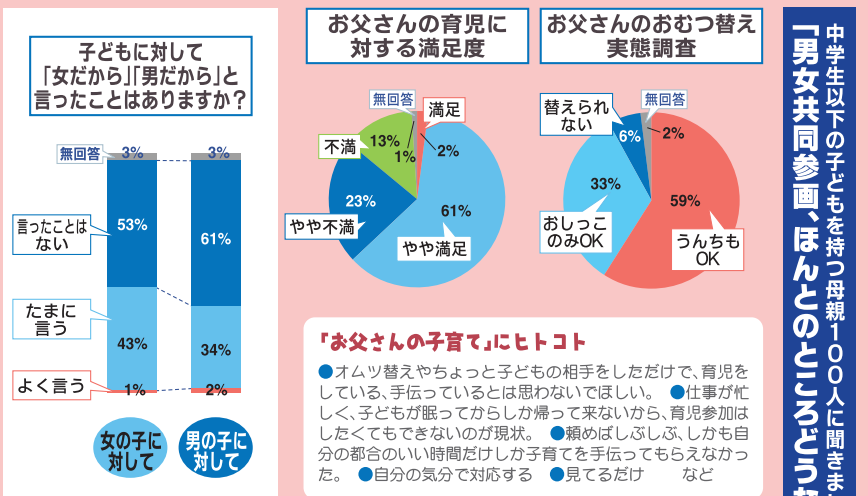
二年生の時自分で作ったバースデーケーキ



学校・家庭・地域など、さまざまな場で行われている、子どもに関する男女共同参画の取組みをレポートしてきました。男性の保育士の例ひとつをとっても、子どもを取り巻く環境はめまぐるしく変わってきているのがわかります。そして、印象的だったのは、その変化を子どもたちはごく自然体で受け止め、生き生きと「いま」を過ごしていることでした。「男だから・女だから」という思い込みに縛られているのは、私たち大人の方かもしれませんね。思い込みを一度リセットして、子ども自身の思いや個性、可能性を見つめることから、私たちみんなの「みらいへの夢」が始まるのではないのでしょうか。

本音・ホンネ・ホントね！

子育て世代の男女共同参画に関する意識を、生活の中の身近な切り口を中心に調査しました。



中学生以下の子どもを持つ母親100人に聞きました。「男女共同参画、ほんとのコトはなんなの？」

学校

「男だから、女だから」ととられることなく、自分らしさを発揮し、自分の考えで歩きはじめた子どもたち。とって自然体なのが素敵です。フレイ フレイ コドモたち!!

女の子なのに変？ いえ、全然！

生徒会長

長浜西中学校三年

佐藤根真愛さん



佐藤根さんが生徒会長への立候補を決意したのは、「二年生の始めから生徒会役員として活動した経験を無駄にしたくない。一人でも多くの仲間、学校を楽しい場所と思つてほしい。」との気持ちから。女性ではまだ数少ない生徒会長就任後、校則の見直しや学校行事の活性化など具体的な目標や活動案を掲げ、着実に成果をあげています。



運動会でも中心になって活動

「母は外で『女の子なのたいへん』という声を聞いてくるようですが、私の目標は楽しい学校づくりで、『女子だから』という意識はありません。みんなで一緒にやっていく方が楽しいと思いませんか？」と語る佐藤根さんの目は輝いていました。

担任 松江樹さんの声 今年の生徒会執行部は半数以上が女子。女子の活躍は、珍しいことではなく、なりたいところありますね。男女の壁だけでなく、「学年の壁」など、とにかく仕切りを取り除いて仲間作りをする努力をしてくれています。

プッシュ！

男女共同参画 社会づくり 啓発ドラマ

高校生である主人公、加奈が、部活動で相撲部に入りたと思うことから起こる様々な周囲の反応を中心に、「自分らしく生きる」とは何かを考えたドorama形式のビデオです。

男女共同参画社会の実現に向け、地域、学校、職場などの場で男女共同参画について考え、話し合うきっかけとして、研修会、学習会、授業などで活用してください。

県立男女共同参画センター、県内の各地域振興局地域振興課、県庁男女共同参画課で貸出を行っています。



